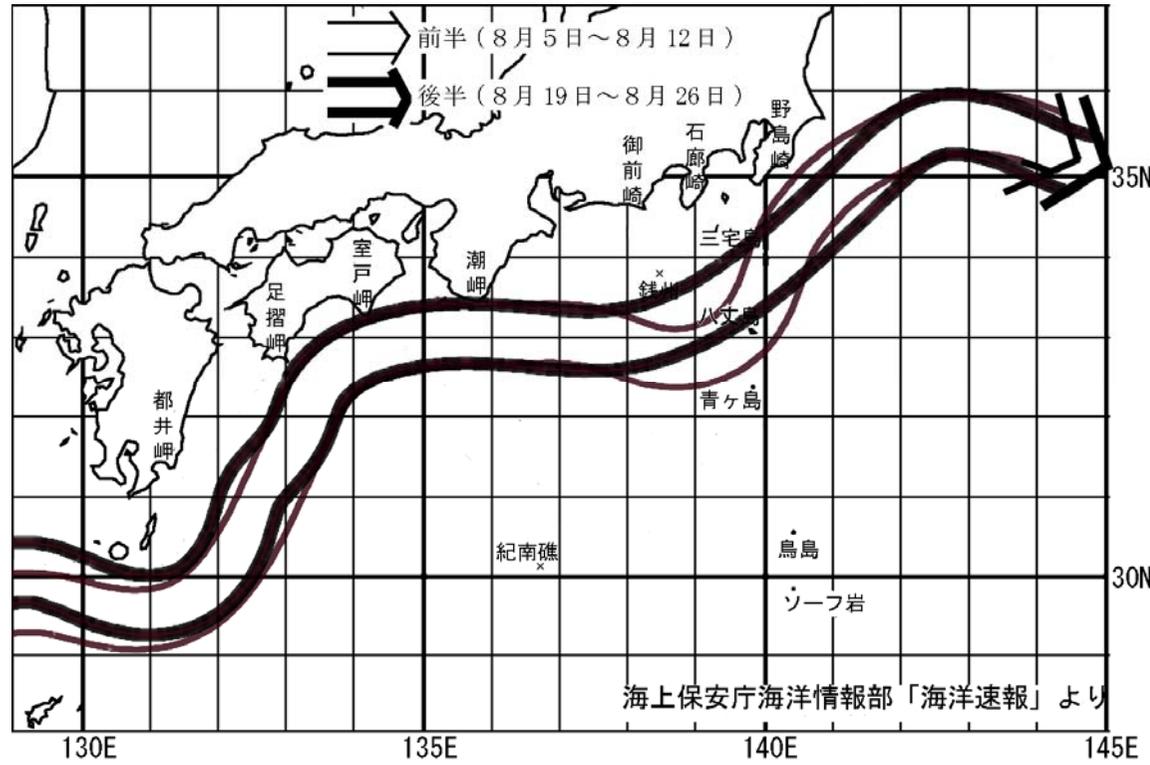


漁海況月報

平成22年 8月 1日

No. 8 ~8月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	25.1	25.1	24.4	27.4	27.9	27.9	27.8
	0.2	1.8	0.6	2.1	2.7	2.5	2.2
中旬	25.6	25.4	24.8	25.9	27.0	26.9	26.6
	0.4	1.3	0.5	0.2	1.3	1.2	0.6
下旬	26.4	26.1	24.5	26.1	27.7	26.5	26.4
	1.4	1.8	0.0	0.2	1.5	0.8	0.4
月	25.7	25.6	24.6	26.5	27.5	27.0	26.9
	0.7	1.7	0.4	0.8	1.8	1.5	1.0

【黒潮流路】

前半の黒潮は、四国沖～潮岬沖で接岸し、その後、遠州灘沖 33° Nを東進し、139° E付近でやや南偏し、八丈島付近を北東に向かい、房総半島沖を接岸気味で流れた。

後半には、九州東岸ではやや接岸、四国沖～潮岬沖では引き続き接岸傾向で流れた。その後、遠州灘沖 33° Nを東進し、駿河湾沖から北東に向かい三宅島と八丈島の間を流れた。前半に比べ、駿河湾沖～伊豆諸島海域では接岸（石廊崎沖では約 25 マイル接岸）、房総半島沖ではやや離岸した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 21～27°C 台、駿河湾の東部では 24～28°C 台、西部では 24～29°C 台で経過した。上旬を中心に県下全域で平年よりも高く、駿河湾では上旬の旬平均が 2°C 以上となった。中旬以降は伊豆半島から沖合にかけてと伊豆半島西岸に低水温が分布し、下田、雲見では平年並となった。

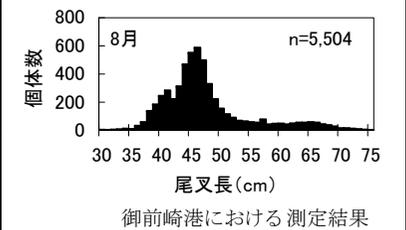
【竿釣近海カツオ】

県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海カツオの水揚量は 115 トンで前年同期の 60%であった。魚価は 336 円/kg で、前年同期を下回った。

静岡県近海では 31° 50' ～34° 10' N、138° 50' ～139° 50' E の神津島からハロースにかけて、小（尾叉長 46cm モード）、極小（41cm モード）、特大・大（65cm モード）カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量 (近海・沿岸、県内主要5港)

期間	水揚量 (トン)	水揚隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
22年 8月上旬	42	25	1.7	418
中旬	23	9	2.6	429
下旬	50	20	2.5	223
22年 8月計	115	54	2.1	336
21年 8月計	193	77	2.5	489
20年 8月計	115	30	3.8	447



【定置網】

8月の伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は 342 トンで、操業がなかった赤石を除く 1 漁場当たり水揚量 48.9 トンは前年 36.7 トン(7 漁場)の 133%、平年値(昭和 57～平成 21 年) 43.1 トンの 113%であった。

魚種別水揚量は、①サバ類 235.0 トン (A : 前年同月比 1,098%、B : 平年同月比 400%) ②イナダ 25.8 トン (A : 104%、B : 477%) ③マアジ 22.2 トン (A : 96%、B : 95%) ④クロマグロ 8.9 トン (A : 8,900%、B : —) ⑤スルメイカ 7.4 トン (A : 44%、B : 203%) の順であった。

サバ類はゴマサバ主体で北川、川奈、谷津を中心に入網し、尾叉長のモードは 28 cm であった。ブリのうちイナダ銘柄は伊豆山、古網、川奈を中心に入網し、昭和 57 年以降で 2 番目に多く、尾叉長の中心は 48～50 cm であった。また、ワカシ銘柄は伊豆山を中心に 4.5 トン入網し、尾叉長はばらつきがあるが概ね 20～30 cm であった。マアジは川奈、伊豆山、富戸を中心に入網し、尾叉長のモードは 14 cm の群が中心で 26 cm にもモードが見られた。クロマグロは富戸、川奈を中心に 8 月下旬に集中的に入網

し、測定できなかったが、体重 20 kg前後のものが中心であった。スルメイカは北川、富戸を中心に入網し、外套背長のモードは 24 cmであった。

漁場別水揚量は、川奈 98 トン（サバ類、マアジ、イナダ、クロマグロ中心）、北川 73 トン（サバ類、スルメイカ中心）、古網 46 トン（サバ類、イナダ中心）の順であった。

【サバたもすくい・棒受網】

小川港には、たもすくい・棒受網によってゴマサバ 1,116 トン（前年同月比 175%）が水揚げされ、1 隻あたり水揚量は 31.9 トン/隻（前年同月比 100%）であった。ゴマサバの平均単価は 42 円/kg で、前月（57 円）、前年同月（50 円）を下回った。

たもすくいの漁場は、上中旬は利島に下旬は三宅、三本に形成された。棒受網の漁場は、上旬は利島に中下旬は三宅、三本に形成された。棒受網では、尾叉長 26cm モードのゴマサバ 1 歳魚（2009 年級群）が漁獲の主体となり、20～22 cm の同 0 歳魚（2010 年級群）も僅かに出現した。また、中旬には 31～33 cm モードのオアカムロも混獲された。たもすくいでは、棒受網よりやや大型のゴマサバが漁獲対象となった模様。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網）水揚量

期 間	水揚量(ト)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(ト)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
22年8月上旬	0	426	7	14	0.0	30.4	—	48	利島, 三宅, 三本
中旬	0	183	2	5	0.0	36.6	—	44	利島, 三宅
下旬	0	508	7	16	0.0	31.7	—	36	三宅, 三本
22年8月計	0	1,116	16	35	0.1	31.9	—	42	—
21年8月	0	637	9	20	0.0	31.9	—	50	三宅, 三本, 利島
20年8月	0	526	7	14	0.0	37.6	—	61	三宅, 三本

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

【シラス船曳網】

1 日 1 か統当りの水揚量は、駿河湾が 397kg、遠州灘が 318kg であった。主要 6 港平均の 1 日 1 か統当りの水揚量は 345kg と前年同期(698kg)の 49%、平年同期（過去 5 か年平均：446kg）の 77%と前年同期、平年同期を下回った。また、総水揚量は 857.6 トンで前年同期(1,305.9 トン)の 66%、平年同期（876.2 トン）の 98%と、前年同期を下回ったが、平年並みであった。平均単価は 674 円/kg と平年同期（604 円/kg）を上回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量 (ト)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	40.1	17	194	207	667
舞 阪	238.7	18	778	307	621
福 田	148.8	17	459	324	594
御前崎	93.5	18	210	445	642
吉 田	195.0	18	430	454	615
静 岡	141.5	19	418	338	951
平成 22 年 8 月計	857.6		2,489	345	674
平成 21 年 8 月計	1,305.9		1,870	698	478
平成 20 年 8 月計	503.7		2,274	222	807

【まき網】

小川港ではマイワシが 5.5 トンの水揚げで平年同期（15.8 トン）の 34.6%であった。沼津港では、マイワシが 4.4 トンの水揚げで平年同期（53.5 トン）の 8.3%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期 2.1 トン）。静浦港では、マイワシが 10kg の水揚げで平年同期（0.8 トン）の 1.2%であった。カタクチイワシの水揚げはなかった（平年同期 51.8 トン）。伊東港ではマイワシが 248.1 トンの水揚げで、平年同期（49.7 トン）の 5.0 倍であった。

注）平年同期：過去 5 か年（2005～2009 年）平均

【調査船の動向】

駿 河 丸

8月 2日	～	8月 4日	地先定線観測	(3日間)
8月 5日	～	8月 6日	マリンロボ・タチウオ調査	(2日間)
8月 10日	～	8月 11日	タチウオ調査	(2日間)
8月 17日	～	8月 18日	短期海況・サクラエビ産卵・サバ調査	(2日間)
8月 19日			シラス調査	(1日間)
8月 20日			一般公開	(1日間)
8月 24日	～	8月 25日	サバ標識放流調査	(2日間)
8月 26日	～	8月 27日	サクラエビ IKMT 調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA の海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。

